

【イベント案内】

環境省 箱根ビジターセンター

●箱根ジオパーク「新緑の水門と歴史を訪ねて」観察会
 日時：5月17日(土) 午前10時00分～午後3時00分(予定)
 内容：箱根に詳しい案内人と一緒に箱根用水の歴史を学びながら歩きます。箱根外輪山を巡り神山・駒ヶ岳・芦ノ湖・富士山等の内外風景を楽しみましょう。
 コース：箱根VC～深良水門～湖尻峠～芦ノ湖展望公園
 ～箱根VC [距離約5km 所要時間約4時間 標高差320m]
 募集定員：50名 健脚向き
 応募締め切り：5月6日(火) [当日消印有効]
 集合・解散：箱根ビジターセンター玄関前

●箱根ジオパーク「初夏の箱根の滝を巡る」観察会
 日時：6月7日(土) 午前9時30分～午後3時(予定)
 内容：箱根に詳しい案内人と一緒にコアジサイの香りを楽しみながら歩きます。箱根最大の滝を巡り自然とふれあいをしましょう。
 コース：小涌谷駅～千条の滝～飛竜の滝～畑宿～湯本駅
 [距離約5km 所要時間約5時間 標高差430m]
 募集定員：50名 健脚向き
 応募締め切り：5月30日(金) [当日消印有効]
 集合：小涌谷駅 解散：畑宿

◆上記2行事の共通事項

費用：大人・子ども100円(保険代)
 交通機関の料金は各自負担願います。
 主催：箱根ボランティア解説員連絡会
 後援：環境省・(一般財団)自然公園財団箱根支部
 応募方法：問い合わせ先：行事名、参加希望者全員の住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記載し、往復葉書またはメールで下記まで
 〒250-0522 足柄下郡元箱根旧札場164
 箱根ビジターセンター 電話 0460-84-9981
 メール：hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp
 ※定員を超えた場合は抽選により参加の可否をご連絡します。

県立丹沢湖ビジターセンター

●「ガイドウォーク」
 内容：旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺をのんびり散歩します。ボランティアスタッフ「むしくさの会」の方々が案内・解説を行います。
 日時：①5月11日(日)
 ②6月8日(日) 10:00～12:00
 (毎月第2日曜日)
 参加費：無料
 事前申込：不要
 集合：開始時間までに丹沢湖ビジターセンター玄関前にお集まりください。
 ※10名以上の場合はお問い合わせください。

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●「宮ヶ瀬の動物調査隊」
 内容：ビジターセンター裏山にすむ野生動物を自動撮影カメラで調べる参加型調査です。
 ※昨年1年間でニホンジカ・タヌキ・テンなど8種類が撮影されました！
 日時：5月3日(土)、4日(日)、5日(祝)
 13:30～15:00頃
 参加費：無料
 事前申込：不要
 ※10名以上の場合は、お問い合わせください。

県立秦野ビジターセンター

●「丹沢トーク」
 内容：丹沢大山の自然について、写真や標本を使って楽しくご紹介します。お子様から大人まで楽しめます♪
 日時：毎週土・祝日 13:30～14:00
 参加費：無料
 事前申込：不要
 ※10名以上の場合は、お問い合わせください。
 ※イベント等の都合により、中止の場合があります。
 ※1月と2月は開催しません。

2014 5・6月号 No.110

神奈川県自然公園だより

～自然公園から季節のたよりをお届けします～
 丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

グルルルルル・・・ 秦野ビジターセンター

怪しげな声が夜の森から聞こえてきます。昼間の森では聞いたこともない声です。鳥なのでしょうかね？虫なのでしょうかね？この声の正体は、・・・ムササビなのです(写真1)。
 ムササビはネコくらいの大きさで、前足と後ろ足の間には皮膜(ひまく)があります。その皮膜をいっぱい広げて夜空を滑空(かっくう)します(写真2)。



写真1：木の上で葉を食べる様子



写真2：滑空する様子

ムササビは一生を木の上ですごし、寝る場所も、食事もトイレも木の上です。
 ムササビの繁殖期(はんしょくき)は春と秋の年2回あると言われますが、5～6月はその1回目にあたります(写真3)。繁殖期には1晩だけ森が騒がしくなることがあります。1頭のメスをめぐって数頭のオスが集まり、オス同士は激しく追いかけ合い、あちこちで枝が折れる音が聞こえ、木から落ちることさえあります。



写真3：近くにいるメス(左)とオス(右)

夜に活動するムササビの姿を昼間に見ることはできませんが、地面をよく見るとムササビの痕跡を見つけることができます(写真4、写真5)。
 皆さんも痕跡を見つけて木の上のムササビを想像してはいかがでしょうか。(木元)



写真4：切り口が斜めにけられた枝の食痕



写真5：正露丸(せいろがん)のようなフン

自然公園へ出かけよう

県立陣馬自然公園センター
 県立宮ヶ瀬ビジターセンター
 県立丹沢湖ビジターセンター
 県立秦野ビジターセンター
 環境省箱根ビジターセンター

休館日のお知らせ
 県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
 1～3月第2木曜日(祝日開館)
 年末年始(12/29～1/3)
 箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
 年末年始(12/28～1/1)

- | | |
|---|---|
| 県立宮ヶ瀬ビジターセンター
〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Te1046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/ | 県立丹沢湖ビジターセンター
〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Te10465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/ |
| 県立秦野ビジターセンター
〒259-1304 秦野市堀山下1513
Te10463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30(通年)
http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/ | 県立西丹沢自然教室
〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Te10465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/ |
| 県立陣馬自然公園センター
〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
Te10426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/ | 環境省箱根ビジターセンター
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
Te10460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/ |

みずみずしい森を歩こう

草木の緑がまぶしい季節（写真①）です。登山道脇ではいきいきとした森の営みを感じられます。



写真②は大木に巻きついたツル植物です。モコモコと、元の木を覆いつくし、よく見ると花も咲いています。「ツルアジサイ」で丹沢

①みずみずしい森の高標高域でみられます。

また、根元がコケ類などにびっしりと覆



②ツルアジサイ



③コケ類に覆われた木の根元



④木の幹に着生した植物



⑤山に湧く霧

宮ヶ瀬ビジターセンター

われている木（写真③）や、幹に他の植物が根づいている木（写真④）などにも出会います。丹沢山地は相模湾から吹く風が上昇気流となり、雨や霧をもたらします（写真⑤）。そのため空気中の湿度が高く、木に着生した苔や植物などが生きやすい環境となるようです。

1年でもっとも瑞々しい森をぜひ、歩いてみてください。登山時の霧や雨など備え、地図や雨具などの装備は万全に。（鈴木）

マルハナバチさん いらっしやい！

きれいに咲いた花を見ていると、ブーンッと大きな羽音が聞こえてビックリすることがあります。その正体は、花粉や蜜を餌とするマルハナバチの仲間です。一般的に怖いイメージがあるハチですが、マルハナバチは毛むくじゃらで丸みがあり、怖いどころか愛らしく見えます。性格は大人しく、指に乗せても刺されることはめったにありません。ちなみに、ハチはメスだけが毒針を持ち、花粉や蜜を探す働きハチもメスです。

丹沢湖ビジターセンター

マルハナバチの活動時期は種類によって異なりますが、春から秋まで。特に色々な種類の花が咲く5～6月は観察するチャンスです。花付きのいい草木を見つけたら、是非働きハチを探してみてください。人が近づいても気にせず花粉を集めています。マルハナバチは受粉を手伝う送粉者（ポリネーター）として植物には欠かせない存在です。植物は繁殖のためにたくさんの花を咲かせて送粉者がやってくるのを待っているのですね。（長澤）

※虫媒花（ちゅうばいか）の植物のお話です



ノイバラの花粉レストランマルハナバチがあしに花粉ダンゴをつけている



指に乗せても大人しいコマルハナバチ



ミツバウツギを訪花するマルハナバチ

沢沿いの野鳥

沢沿いの登山道で観察できる野鳥を4種類紹介します。

4月中旬に南の国から渡ってくる夏鳥オオルリは、さえずりも特激があり一度覚えると忘れません。オスは比較的高い枝などの目立つ箇所にとまって、さえずる姿をよく見かけます。



オオルリ

小さな体で大きなさえずりを聞かせてくれるミソサザイは、体の色が地味なので鳴いてくれないと見つけにくい鳥です。倒木や岩の隙間から出たり入ったりする姿をよく見かけます。



ミソサザイ

西丹沢自然教室

沢に沿って一直線に飛んでゆく姿が印象的なカワガラスは、水中に潜って川虫などの餌を採ります。

セキレイの仲間と比較的高所で観察されるキセキレイは、波状に飛ぶ姿が印象的です。

沢沿いの登山道は林内と違って空が開けているので観察しやすい場所です。西丹沢自然教室周辺では西沢沿いの登山道がおすすめ。ハードウオッチングのついでに本棚や下棚の滝の見物もいかがですか。（赤塚）

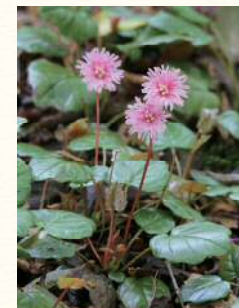


カワガラス



キセキレイ

アカバナヒメイワカガミ



毎年この時期になると問い合わせがとても多くなるのが、「アカバナヒメイワカガミ」の開花状況です。この小さな赤い花は、箱根では主に大涌谷～神山間の登山道で見られます。1株1株はとても小さく、岩の上にこじんまりと咲く

ものもあれば、写真のように一面イワカガミの赤い絨毯が敷き詰められたかのような場所もあります。場所によっては踏みつけそうなところで咲いていますので、足元にご注意く

箱根ビジターセンター

ださい。

「アカバナ」（赤い花を咲かせ）、「ヒメ」（小さくこじんまりとしていて）、「イワカガミ」（岩場に多く、光沢ある葉が鏡のよう）と、何とも長い名前が付いています。初めてこの名前を聞いた方は、長くてちょっと覚えにくいようです。しかし、その名前の長さも裏を返せば、詳しくこの小さな植物を観察させる魅力溢れた名だとも言えます。（佐藤）



卵の花の におう垣根に・・・♪

にぎやかな季節を迎え、植物や活発に動く生き物たち、林の中は里から山頂へと萌え木色でうめつくされます。新鮮な木々の香りが漂い“森林浴”の名のとおり体が緑の中につかっているようです。また、この時期は林の中でひととき目を惹く白い花色のウツギ（空木）が次々に咲き出します。茎が中空のため空木と呼ばれています。



新緑の登山道

「ウツギ」の名を持つ樹・・・最初にやや下向きに白い花を多数つける「ヒメウツギ」が、次に枝先に咲く花



ヒメウツギを吸蜜するサカハチチョウ

陣馬自然公園センター

は完全に開かない「ミツバウツギ」、萼(がく)の変化した装飾花がある「ガクウツギ」、そして、名の由来は花序(かじょ)の様子を米が砕けた小米に見立てたことによる「コゴメウツギ」、葉が太く丸みを帯びている「マルバウツギ」、葉のフチがぎざぎざで、1cm程の白花を枝の先端に次々とたくさん咲かせる「ウツギ(別称・卵の花)」の順に咲き出します。賑やかに咲き誇る「何々ウツギ」を今年は陣馬登山で観察してみませんか？（荒井）



コゴメウツギ



マルバウツギ